



笑顔あかるく 心あったか すごしてあんしん

トリプルAAAの学校づくりを振り返って（児童・教員・保護者・民生委員自治会長アンケートから）

学校自己評価結果のまとめ

1 「笑顔あかるく」

（1）「分かった！」「学習が楽しい！」の思いがあふれる授業をします

（2）知的好奇心を高め、「もっと知りたい」「もっとやってみたい」と夢中になれる活動をします。

自分の考えが友だちと違ったり自分の予想と異なる結果に出会ったりした時、子どもたちは「どちらが正しいのだろう」「どうしてその結果になったのかな」といった疑問や問題を抱き、知的好奇心を高めながら学習を始めていきます。私たち教員は授業の中で、子どもたちが知的好奇心を持って追求できるような課題を提示したり、その子なりの方法で疑問や問題を解決できたりするよう支援をすることで、学習することの喜びや充実感を感じられるよう努めています。

こういった取組もあって、児童アンケートでは「楽しく学習していますか」に96%、「もっと知りたい・もっとやってみたいと思うことがありますか」に93%の児童が肯定的な回答をしています。今後も教員間で研修を行いながら教員一人一人の授業力向上に努め、子どもたちにとって魅力ある授業づくりを進めていきます。



光の進み方の実験（3年）



教員間での授業研修（4年）

（3）互いに尊敬し、子ども同士や子どもと教師の「絆」を深めます。

（4）「ありがとう」の言葉があふれる学校にします。

「みんなのいいところを見つけていますか」に95%、「ありがとうの言葉を使っていますか」に99%の児童が肯定的な回答をしています。子どもたち同士が、お互いの個性や特性、文化等を認め合いながら、どの子にとっても居心地のいい場所となるよう、教職員も日頃から子どもたちのいいところを見つけ、評価するようにしたり、道徳や人権、国際の授業等を通して学級づくりを進めたりしてきました。今後も、子どもたちが互いのよさを知り、温かいつながりができるよう取組を進めていきます。



いのちの授業（2年）

（5）元気な挨拶の声があふれる学校にします。

「みんなに挨拶をしていますか」に94%の児童が肯定的な回答をしています。保護者アンケートでも93%のご家庭で挨拶や礼儀を大切にするよう指導していただいています。地域の方々からも「気持ちいい挨拶をする子が増えましたね」とうれしい言葉をいただくことがある反面、「声をかけても挨拶



あいさつ運動（生活委員会）

が返ってこない」ということを聞かせていただくこともあります。これからも教職員から積極的に挨拶の声を児童にかけたり、いろいろな場面で挨拶することの大切さについて指導したりしながら、児童が気持ちのいい挨拶ができるよう引き続き取り組んでいきます。

(6) 白塚に誇りをもち、郷土を愛する心を育てます。

郷土を愛する心を育てることは、自尊感情を育てることにつながります。今年度は「やぶねり体験」(6年)や「田植え・稲刈り体験」(5年)、「認知症キッズサポーター養成講座」(4年)、「町探検」(2年)、「浜清掃」(全校)等、多くの地域から学ぶ学習を実施することができました。長年、地域から学ぶ学習を続けてきたこともあり95%の児童が白塚のまちが好きと回答しています。今後も、地域から学ぶ学習を大切にしていきます。



浜清掃(全校児童と地域の方々と)

2 「心あったか」

(1) 失敗があたたかく受け入れられ、できたときにほめてもらえる、そういう学級・学校にします。

(2) 互いのいいところに気付かせ、ほめ合えるような仲間づくりに努めます。

(3) 子どもたちに対する教師のはげまし等の声かけを大切にします。

(4) 心が温かくなるような挨拶をしていきます。

「心があったかい学級や学校だと思いますか」に92%、「先生や友達にほめられたことがありますか」に96%の児童が肯定的な回答をしています。このことは、学級担任が中心となって、子どもたちを褒めたり、お互いが認め合ったりできるような学級づくりに取り組んでいる成果が出てきていると捉えています。互いに尊重し合う温かい学級づくりがあってこそ、自分の思いや願い、困っていること等を安心して出すことができ、さまざまな取組の効果が表れると思います。今後も「友だちの良いところをみつけられてよかった」と実感できる取組を進めていきます。

3 「すごしてあんしん」

(1) 危機管理マニュアルの見直しを行い、危機管理体制を整えます。

(2) 5S(整理整頓清潔清掃しつけ)を実行し、明るく清潔な環境にしていきます。

(3) 安全点検を定期的に行い、安全に配慮した環境整備をします。

子ども達が学習や活動を行う学校が明るく清潔な環境であることはとても大切です。教職員は日々、教室や廊下、トイレ等の整理整頓や清掃等に気をつけていますが、子ども達にも自分の回りの環境に関心を持たせ、自ら整理整頓や清掃等ができるよう声掛けをしています。そういった取組もあり「整理整頓をしていますか」「掃除場所をきれいにしていますか」の児童アンケートでは89%、98%の児童が肯定的回答をしています。今後も整理整頓に気をつけている児童や清掃を頑張っている児童を認め、他の子にも伝えていくことで、身の回りを明るく清潔にしていこうとする児童を増やしていきたいと思います。

また、子ども達が安全で安心して学校生活を送れるよう、教職員が定期的に教室や廊下、特別教室、運動場の遊具等の安全点検を行うとともに、運動場の遊具については年1回専門の業者による点検も行っています。



時間までしっかり掃除(1年)

(4) 健康を考えたおいしい給食を提供します。

本校の給食は栗真小学校へも配送しながら、毎日、健康で安全・安心の温かい給食を提供できるよう努力しています。子ども達が給食について興味関心を持てたり、食文化や健康な体に必要な栄養の取り方等について楽しく学



給食委員による「お話給食」

べるよう、職員室前の給食コーナーに給食委員がその日の給食のメニューや栄養が分かるよう掲示をしたり、栄養職員による食育の掲示や給食委員による「お話し給食」も実施しています。

また、食物アレルギーのお子さんの対応では、保護者と献立について丁寧に話し合って提供するメニューを決め、栄養職員・給食調理員・担任・管理職で確認しあい、間違いなく安心して除去食等の提供ができるよう努めたり、宗教除去食として肉除去の対応も行なっています。

(5) 子どもたちに学習規律や行動規律を指導し、規範意識が育つよう努めます。

「チャイムですばやく行動する」に97%、「約束や決まりを守る」に97%の児童が肯定的な回答をしています。このことは、教職員がチャイムと同時に授業を始めるようにしたり、機会あるごとに約束や決まりを守ることの大切さについて指導したりしてきている効果が表れてきていると思われます。

しかし、学校での児童の様子を見ていると、チャイムを意識して動けなかったり、自分勝手な言動から友だちとトラブルになってしまったりすることも見られます。今後も、引き続き学習規律や行動規律について指導し、子どもたちの規範意識が育まれるよう取り組んでいきます。

(6) 一人ひとりが認められ、安心して心を開くことができる人間関係づくりを進めます。

(7) 何でも相談できる教師との関係づくりに努めます。

「困ったことがあったとき、相談できる人はいますか」に96%の児童が肯定的な回答をしています。子どもたちが相談する相手は、友だちや保護者、担任等、さまざま考えられますが、学校としましては、学級担任が中心となり普段の子どもたちの様子から、困ったことや悩みを持った子がいないかを把握し、気になることがあれば積極的に声をかけて相談しやすい関係づくりに努めるようしています。

しかし、昨年度よりは減少しましたが、本年度も4%の児童が「相談できる人はいますか」に否定的な回答をしています。学校としましては、引き続き、普段から子どもの達一人一人の様子をしっかり把握ながら、相談しやすい雰囲気づくりに取り組んでいきたいと思えます。

また、保護者アンケートの「学校に相談しやすいか」についても、15%のご家庭から否定的な回答を頂いていますので、学校と保護者の関係づくりについても引き続き取り組みを進め、相談しやすい学校づくりを進めていきたいと思えます。

(8) 各たよりやHP等で学校の様子を知らせます。

学校の取組や子どもたちの様子を保護者や地域の方々に知っていただくことは、とても大切なことと考え、学校だよりや学年だより、保健だより、給食だより等を月1～2回発行してきました。また、学校ホームページは、ほぼ毎日更新し、児童や学級、学校の様子を配信しています。こういった取組もあって「学校の様子が分かりやすく伝わっている」の項目は保護者アンケートが90%、民生委員・児童委員アンケートが82%の肯定的回答でした。今後も保護者や地域の方々に各たよりやホームページで学校の情報を発信していきたいと思えます。

4 家庭での様子

(1) 家庭学習について

「宿題や自主勉強等の家庭学習に取り組んでいる」の肯定的回答は95%でした。学力をつけるためには、学校だけの学習では難しい面があります。家庭でもコツコツと学習することで学力は定着していきます。出された宿題だけをやるのではなく、予習や復習等の自主的な学習が大きな効果があ

■ 2023年05月 | 地域ふれあい体験活動 | 6月24日(日) 地区の中学校(豊田)で行った。6年が中心で体験活動を行った。

6月24日(日)、地区の中学校(豊田)で行った。6年が中心で体験活動を行った。

体験活動は、地域の中学校(豊田)で行った。6年が中心で体験活動を行った。



体験活動は、地域の中学校(豊田)で行った。6年が中心で体験活動を行った。



やぶねり体験 HP(6年)

ります。

しかし、例年、実施されている全国学力・学習状況調査での6年生の回答を見ると、本校の児童は「授業以外に普段、勉強を全くしない」「学校が休みの日、勉強を全くしない」という割合が全国に比べて6.0%、11.7%多いという結果が出ています。

授業以外でなかなか学習できない子どもたちも興味関心を持って家庭学習に取り組めるよう、本年度から学校で使用しているタブレットを家に持ち帰り、家庭学習に活用する取組を進めています。音読をタブレットに録音したり、家の中で冬らしいものを見つけて写真に撮ってくるといった、子どもたちにとって興味関心を持てる宿題を出すことで、家庭学習に意欲的に取り組もうとする子どもたちを増やしていきたいと考えています。タブレットを活用した家庭学習については、より充実していけるよう来年度以降も取組を進めていきます。



全国学力学習状況調査(6年)

(2) メディアとの関わり

保護者アンケートの「テレビやゲーム等をする時間を決めていますか」で「あまり決めていない、決めていない」と回答されたご家庭が、テレビで54%、ゲームで44%となり昨年度より僅かですが増加しています。ゲームやテレビの時間がきちんと決まっていないと、ついつい長時間、テレビやゲームに夢中になってしまい、家族とのコミュニケーションや学習する時間が確保できない等の弊害も生じがちになります。

子ども達に放課後や休日の過ごし方を尋ねてみると、ゲームをしたりスマホを見て過ごしたりしている時間が多いことが伺えます。ご家庭で十分に話し合っただき、各家庭に合った時間設定やルール作りをしていただきたいと思います。

また、近年、ラインやネットゲームによる友達関係のトラブルも増えています。学校でも、学年に応じてネットモラルについて指導していますが、ご家庭でもお子さんが、どのようなネットの使い方をしているか、また、どんな人とつながっているのか等、しっかり確認していただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



ケイタイ・スマホ安全教室(5年)

【来年度に向けて】

本年度初めにコロナが5類へ移行され、内容を縮小したり中止したりしてきた行事や活動に、以前のように取り組むことができるようになりました。制限されることなく思いきり行事や活動に取り組む中で、子どもたちは仲間と共に学ぶ喜びを感じているようでした。

私たち教職員は、子どもたちのそういった姿が少しでも多くみられるよう、2学期末に行ったアンケートをもとに、教職員で今後とも大切にしていこうことや改善していくことについて検討を進めています。その中で、「きつい言葉を使っている場面を見かけるので、その時々指導していくことが必要」「約束やきまりを意識させて行動させていくことが大切」等、取り組むべき様々な課題も明らかになってきました。そういった課題を教職員一人一人が意識しながら子ども達と関わっていくことで、生き生きとした子どもの姿がたくさん見られるようにしていきたいと思っています。

今後とも、学校と家庭、地域が一体となって子どもたちを育てられるよう、ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。